

# 平成26年度 五ヶ瀬町立坂本小学校自己評価書

評価については、4段階評価（A：期待以上 B：ほぼ期待通り C：やや期待以下 D：大幅な改善を要する） C、Dの評価については、理由及び改善の取組等を記述。

		評 価 項 目	評価	理由及び改善のための取組等	
1 2 3 4 5 6 7	職員・満足度及子どもの態度	子どもたちは、毎日楽しそうに学校に通っている。	B	※ B評価についてもさらに充実していく点について、表記する。 ○ 一番の課題は昨年度に引き続き学校外での積極的なあいさつ実践である。児童自身はやっていると思っているのは多いものの、家族や地域の方にはまだまだ受け取られている。粘り強くその意義や地域の期待について児童に語り続けていき、称賛活動を充実させたい。また、掃除など積極的な取組のできる児童の育成が望まれる。 ○ 3～7については、昨年に比べて0.1～0.5ポイントのプラスであり、職員の日々の努力が実を結んでいる。特に収穫祭への地域の方の参加、わくわくランチの対応など成果を上げている。	
		職員は、教育活動に熱心に取り組んでいる。	A		
		職員は、まとまりがある。	B		
		保護者や子どもが学校生活に悩みがあって相談したとき、職員は親身に応じている。	B		
		職員は、本校に来校した地域住民や保護者に明るくていねいに対応している。	B		
		学校行事や体験活動には、地域住民や保護者が参観しやすいよう工夫している。	B		
		子どもたちは、地域住民や子ども同士で気持ちよい挨拶ができています。	C		
8 9 10	保護者・地域との交流	普段から教職員と保護者と交流ができています。	B	○ 8～10については、昨年度と比べて0.1～0.3ポイントのプラスであり、学校での取組と学校以外での積極的な交流が実践されている。必要に応じて保護者や地域との話し合いの場をもってきたことが評価された。	
		教職員が地域の行事に積極的に参加するなど、地域住民との交流ができています。	B		
		地域の行事に子どもたちが積極的に参加・協力する体制ができています。	B		
11 12 13 14 15 16 17	信頼される学校	子どもたちのけがや病気にに対して、適切に対応している。	B		○ 13～18については、昨年度と比べて0.1～0.5ポイントのプラスであり、避難訓練を事態に即して改善したことやホームページの充実など学校からの発信力を高めたことが評価された。特にホームページの閲覧数が約2年間で50,000アクセスを超えたことは、本校の教育活動への期待の高さと、それに応える取組が相乗効果を生んでいる。
		防災訓練や緊急連絡等の一斉メールなど、非常災害時の対策を十分に講じている。	B		
		学校の教育方針や重点的な取組が明確で、地域や保護者に浸透するよう努めている。	B		
		いじめ防止のための対策やいじめ発生時の対応・態勢がとれている。	B		
		配付資料やホームページ等で、学校や子どもたちの様子を適切に公開できている。	A		
		職員は、学級状況をよく把握し、教育懇談会などの保護者会において、保護者に学校・学級の様子をよく伝えている。	A		
		保護者面談等において、子どもたちの様子を保護者と共有することができている。	B		
18 19	環境	教育施設や備品が十分に備わっている。	B	○ トイレの改修工事が終了し、児童や保護者が評価をしている。汚掃りがまだあるため、安全点検を充実させ、危険のないようにしたい。 ○ 整理・整頓や花のある環境美化ははた依然として課題であり、毎日片付けの時間を設ける、計画的な花育てなど対策を講じる。	
		清掃・整理整頓が行き届いており、明るく清潔な環境の中で教育ができています。	C		
20 21 22 23 24 25	確かな学力	諸学力調査の結果を分析・考察し、指導に役立っている。	B	○ 「確かな学力」については、諸学力検査等において少しずつ成果が表れてきている。特に「五ヶ瀬のよさ」を認識する教育活動やG授業の取組の理解が進んできている。 ○ スピーチ集会の充実や定期的な投稿活動により、児童の表現力が著実に伸びている。 ○ 一人一人の実態に応じた学力向上策を実践していく必要がある。 ○ より効果的な「学力向上タイム」の実践が必要である。	
		児童・生徒一人一人の学力を的確に把握し、学習指導を展開している。	B		
		授業力向上のための研究授業や研修の充実を図っている。	B		
		小学校相互・中学校相互に効果のあるG授業の実践を積み重ねている。	A		
		外部機関と連携した取組を指導に生かしている。	B		
		各種調査結果より本校の授業等で、子どもたちの学力が向上している。	B		
		①学力向上タイム（国・算）を計画的に行い、習熟を図っている。	B		
26 27 28 29 30 31	重点取組事項と成果	②読むこと・話すこと（音読、スピーチ集会等）、書くこと（作品づくり、ノート指導等）をとおして、表現力の育成に努める。	A	○ 「豊かな心」については、まずいつでも、どこでも実践できるあいさつの力を付けていく。 ○ あいさつの仕方の全体指導と大人も家庭と一緒に実践できるよう啓発活動を行う。	
		地域の人材や資源を学習活動等に効果的に活用するなど、五ヶ瀬（地域）のよさを幅広く認識する教育活動を意図的に実施している。	A		
		学校行事や体験活動は、五ヶ瀬を知り、五ヶ瀬で学び、五ヶ瀬に貢献するという観点から工夫され充実している。	B		
		学校行事や体験活動の目的や内容は、地域住民によく理解されている。	B		
		本校のカリキュラムにより、子どもたちが成長している。	B		
		③「あいさつをいつでも どこでも 誰にでも」が実践できている。	C		
32 33 34 35 36 37	豊かな心	④危機管理体制を充実させ、家庭や地域、関係機関と連携して、安全教育の徹底に努める。	B	○ 「健康・体力」については、「こかせっすこやかプラン」において、児童の実態は把握できているが、有効に活用するまでには至っていない。 ○ 学校をほとんど休まずに元気に登校している点については、特に保護者の評価が高い。全体的な心身の健康は保持されているが、むしろの治療や早寝をすること、ゲーム等のやり過ぎを自己管理する力など細かな点について改善する力を付けていく。	
		「こかせっすこやかプラン」を広く周知し、学校の課題解決に努めている。	B		
		「すこやか健康貯金」を活用して、子どもたちの指導に生かしている。	B		
		体力テストの結果や体力向上プランをもとに、児童生徒の体力向上にしっかりと取り組んでいる。	B		
		「体力向上プラン」を、体育科学習の工夫改善に役立っている。	C		
		⑤「早寝・早起き・朝ご飯」の実践を身に付けている。	B		
38 39	健康・体力	⑥「欠席0」を年間170日間、達成する。	B		

### 【平成26年度の総括評価】

- 平成26年度の課題であった本校の教育活動を地域の皆さんへの十分知っていたこと、また積極的に参加していただくことについては、一定の成果が上がってきた。
- 学習面、生活面、健康・体力面など、家庭の協力をより一層いただけるように啓発活動を充実していきたい。